

水道事業はあなたの水道料金で支えられています

水道だより

第60号
2019年

Okinawa City Waterworks Bureau Newsletter 2019 Vol.60 沖縄市水道局 広報紙

CONTENTS

- P2 沖縄市水道 60 年のあゆみ
- P4 JICA 地域別研修・水道モニター
- P5 八回ウイン・インターンシップ
- P6 中部圏域水道事業体合同訓練
- P8 各種お知らせ

表紙写真

1959年（昭和34年）

諸見里工区・リマレストラン側配水管布設工事
当時の掘削は、ツルハシやスコップ等を用いて
の作業であり過酷をきわめた。

沖縄市水道事業 60年の歩み

○沖縄市の水道事業は 1958 年 (昭和 33 年) に米軍の送水管から旧コザ市の配水管へ連結されてスタートしました。以降、米軍による水道政策の変更やたび重なる渇水など幾度の苦難を乗り越え、平成 30 年 6 月 19 日に通水 60 周年の節目を迎えました。

- 1953 年 (昭和 28 年) 越来ダム (現おきなわこどもの国内) が完成
- 1956 年 (昭和 31 年) 7 月 1 日コザ村がコザ市に昇格。水道事業も本格的な開始に向けて動き出す。
- 1957 年 (昭和 32 年) コザ市上下水道布設工事認可
米国民政府とコザ市の間で「給水仮協定」を締結。
- 1958 年 (昭和 33 年) 米国民政府とコザ市配水管への連結。通水式を行う。
- 1962 年 (昭和 37 年) 美里村、琉球政府から水道事業経営を認可。
美里村、琉球水道公社と給水協定契締結。
- 1963 年 (昭和 38 年) 72 年ぶりの異常渇水で、鹿児島県や米軍基地内から水を運搬し給水。
- 1972 年 (昭和 47 年) 本土復帰により水道法を適用。
- 1974 年 (昭和 49 年) コザ市・美里村の合併により「沖縄市」が誕生。
沖縄市水道事業が認可される。
- 1975 年 (昭和 50 年) 「嘉手納米軍基地給水契約」の締結。嘉手納基地への給水は沖縄市が一括する。
- 1981 年 (昭和 56 年) 沖縄市水道事業変更第 1 次拡張事業の認可を得る。
異常渇水により沖縄本島述べ 326 日間給水制限実施。
- 1983 年 (昭和 58 年) 本市初の配水池となる八重島配水池竣工。
- 1984 年 (昭和 59 年) 与儀配水ポンプ場竣工。
- 1985 年 (昭和 60 年) 第 1 次拡張事業計画変更の認可を得る。
- 1987 年 (昭和 62 年) 松本配水池竣工。
- 1988 年 (昭和 63 年) 通水 30 周年記念シンポジウム「水 - 21 世紀へのメッセージ」開催。
沖縄市水道事業通水 30 周年記念式典の開催。
- 1989 年 (平成 元年) 沖縄市水道部広報誌「水道だより」創刊。
- 1991 年 (平成 3 年) 大里配水池竣工。
- 1992 年 (平成 4 年) 沖縄市水道部より沖縄市水道局へ名称変更。
- 1993 年 (平成 5 年) 山里配水ポンプ場竣工。
- 1994 年 (平成 6 年) 知花・松本部落営簡易水道が廃止。沖縄市の水道普及率が 100% になる。
- 1995 年 (平成 7 年) 阪神大震災支援 (兵庫県西宮市) に水道局職員 3 名を派遣。
高原配水池竣工。
- 1996 年 (平成 8 年) 検針業務の効率化のためハンディーターミナルによる検針を開始。
沖縄市水道モニター制度がスタート。



1956 年 (昭和 31 年) コザ市議会で水道計画が議決。



1958 年 (昭和 33 年) 6 月 19 日 通水式の様子



1963 年 (昭和 38 年) 米軍より飲料水の分譲を受ける給水車



当時の給水工事風景 (掘削もツルハシやスコップ等を用いての作業であった)



旧水道庁舎 (仲宗根町馬原上: 現仲宗根町)

- 1998年（平成10年） 沖縄市水道事業通水40周年記念式典を開催。
- 1999年（平成11年） 八重島第2配水池竣工。
- 2000年（平成12年） 県内で初めてコンビニエンスストア2社との水道料金等徴収業務を開始。
- 2001年（平成13年） 第2次拡張事業の認可を得る。
水道施設マッピングシステム稼働開始。
- 2002年（平成14年） 水道新庁舎竣工（美里）。
業務効率化のため、戸別訪問による水道料金の集金委託制度を廃止。
- 2003年（平成15年） 沖縄県水道災害相互応援協定の締結。
- 2004年（平成16年） 市内各配水池へ応急給水栓を設置。
3階建て建築物への直結給水が始まる。（一部地域を除く）
- 2005年（平成17年） イメージキャラクター「ハイビィちゃん」誕生。
沖縄市管工事協同組合と「災害応援協定」を締結。
- 2006年（平成18年） 水道局ホームページを開設。
- 2007年（平成19年） 配水ブロック検針システム本格運用。
- 2008年（平成20年） 胡屋配水池竣工。
沖縄市水道事業通水50周年記念式典を開催。
- 2009年（平成21年） 各配水池耐震診断（胡屋配水池除く）。
八重島配水池耐震補強工事完了。
- 2010年（平成22年） JICA地域別研修（島嶼における水資源保全管理）
が開始する。
- 2013年（平成25年） 八重島第2配水池耐震補強工事完了。
- 2014年（平成26年） 「沖縄連携によるサモア水道公社維持管理能力強化プロジェクト」により、サモア独立国へ職員派遣を開始する。
- 2015年（平成27年） 第2次沖縄市水道事業基本計画となる沖縄市水道ビジョンを策定。



2002年（平成14年）水道新庁舎竣工（美里）



2005年（平成17年）イメージキャラクター「ハイビィちゃん」誕生。



2015年（平成27年）沖縄市水道ビジョン策定。

沖縄市水道通水60周年記念 表彰式及び懇親会



沖縄市水道通水60周年記念 表彰式及び懇親会が、平成31年1月16日（水）に沖縄市水道局にて行われました。表彰式では、功労表彰者（2名）、特別表彰者（8名）、個人表彰者（1名）の計11名のみなさんに表彰状を贈られました。引き続き行われた懇親会では、水道OB・関係者の方々からの思い出話や、今後の水道事業への思い等も聞くことができ、終始和気あいあいとした雰囲気でした。

沖縄連携によるサモア水道公社維持 管理能力強化プロジェクト

沖縄市水道局では、JICA よりプロジェクトの参加要請を受け平成26年から大洋州サモア国へ職員の派遣を行っており、今回で5回目の派遣となりました。

派遣された職員は、平成30年9月20日（木）から平成30年10月26日（金）までの約1ヵ月間、大洋州サモア国で配水分析及び無収水削減に関する調査・研究等を行いました。

私たち水道局は、技術支援を行うことにより、職員能力の向上が図られ、人材育成や水道技術の向上に繋がると考えております。今後も沖縄県企業局や県内水道事業体、JICA 沖縄と連携・協力を図りながら国際貢献を推進していきます。



漏水調査風景



サモアの職員の方々と



現場での風景



現場で少しひと休み

第11期水道モニター会議 活動報告



平成30年10月22日（月）、第11期水道モニターの委嘱状交付式と第1回会議を行いました。

水道モニター制度は、平成8年度から実施しており、水道事業について知ってもらい、市民の皆様の意見・提案等の把握に努め、使用者サービスの向上や効率的な事業運営を行う目的で開催しています。今回のモニターは6名の方々に委嘱状を交付し、任期は2年間となります。

第1回会議は、「蛇口の向こう側」と題し学習会を開催しました。水道水がどのように蛇口まで届いているのか、その順路について説明しました。

モニターのみなさんからは、ダムや水源地の施設の見学も行いたいとの要望もあり、水道事業に対する意識の高さを感じることが出来ました。





ハロウィン



昨年のハロウィンの日に、松本保育園、すみれっこ保育園、もりのなかま保育園の園児達が水道局に来局されました。

ハロウィンということで、園児達は、人気キャラクターや個性的な衣装に身を包み元気なダンスを披露してくれました。

ダンスを披露したあとは、職員からお菓子をもらい素敵な笑顔を見せてくれました。

職員も園児達から元気をもらうことができ素敵な一日になりました。



松本保育園



もりのなかま保育園



すみれっこ保育園



インターンシップ



平成 30 年 12 月 4 日～12 月 7 日の 4 日間、美来工科高等学校の生徒が水道局にてインターンシップとして水道局の業務を体験しました。

水道局の全課（総務課、料金課、工務課、管理課）の業務を体験したので大変な 4 日間であったとは思いますが、一生懸命熱心に取り組んでいました。



在庫管理 (総務課)



水質検査 (管理課)



検針業務を体験 (料金課)



計装システム (管理課)



工事現場 (工務課)



平成 30 年度 中部圏域水道事業体合同訓練

平成 30 年 11 月 13 日（火）、沖縄こどもの国公園駐車場にて「平成 30 年度中部圏域水道事業体合同訓練」を行いました。

午前中は、沖縄県太平洋近海にて地震が発生したと想定し、電話等で情報伝達訓練を行いました。午後は、各自治体が、保有している応急給水車にて企業局調整池より給水を受け、沖縄市こどもの国まで運搬し、給水袋へ注水する応急給水訓練を行いました。

各自治体で種類の違う給水タンクや給水袋があり、中部圏域職員の方々も設置方法や使い方について、熱心に意見を交換されていました。



各自治体の応急給水車



作業に入る職員の方々



山里調整池（県）での給水訓練



設置作業を熱心に見学する中部圏域職員の方々



給水袋使用方法の説明風景

水道料金のお支払いは、安心・便利・確実な口座振替をご利用下さい。

お申込み方法

沖縄市水道局料金課または、県内の各金融機関の窓口でお申込みください。郵送での申込みもできますので、詳しくは水道局料金課までご連絡ください。

お手続きに必要なもの

- ①水道番号が確認できるもの（「使用水量のお知らせ」や「納入通知書兼領収証」など）
- ②指定口座の通帳
- ③口座にご使用の印鑑



ご利用いただける金融機関

○琉球銀行 ○沖縄銀行 ○沖縄海邦銀行 ○コザ信用金庫 ○沖縄県労働金庫 ○JAおきなわ ○ゆうちょ銀行

お申込みいただいてから、約1～2ヶ月で振替手続きが完了します。手続きの完了通知はなく、記帳にてご開始の確認をお願いします。（振替日8日・再振替日22日）

※振替は当月分のみとなり、遡って未納料金を振替えることはできませんのでご了承ください。

料金課 TEL (098)937-3637

「水道水」をもっとおいしく飲むための一工夫

○冷蔵庫や氷などで20℃以下に冷やすことで消毒用の塩素のおいもあまり気にならなくなります。体温より20～25℃低い時においしく感じると言われています。



○塩素のおいが気になる場合は、5分ほど沸騰させ冷やすと塩素が蒸発するのでおいしく取ることができます。

※沸騰させた水道水は塩素の消毒効果がなくなりますので、早めに飲み切りましょう！



○水道水にレモン汁を数滴加えると、おいしく感じることができます。レモンに含まれるビタミンCが塩素を分解してくれます。



※塩素を取り除くとおいしが軽減され飲みやすく感じます。しかし、塩素の消毒効果がなくなり雑菌などが繁殖しやすくなりますので保存には向きません。ご注意ください。

お引越しのご連絡はお済みですか？

お引越しの日が決まりましたら、お早めに水道局へご連絡ください。3月・4月は転入転出の時期となり、お客様からのお問い合わせが多く、特に休日明けは、お電話がつながりにくくなりますのでご了承ください。



※水道の使用をやめるときは、忘れずにご連絡をお願いします。使用停止のご連絡がない場合、ご使用がなくても基本料金が発生しますのでご注意ください。

料金課 TEL937-3637 (平日8:30～17:15)

水道メーター取替作業のご案内

水道メーターは、計量法により有効期間が8年と定められています。沖縄市水道局では正確な使用水量の計測が出来るように、有効期間が切れる前に新しいメーターへ取り替えを行っています。取替作業につきましては、水道局が委託した水道業者が行いますので、その際にはご協力をお願いします。

※この水道メーター取り替え作業で代金をいただくことはありません。

平成31年度の取り替え地域

城前、越來、知花、胡屋、仲宗根町、宮里、室川市営、
安慶田市営、泡瀬市営、松本県営

管理課 TEL937-3691